



わるくち
ネットに悪口
なや
じさつ
悩んで自殺か
しゃかい

テレビの人気番組に出演していた女子プロレスラーの木村花さん(22)=写真=が5月23日、亡くなりました。番組での発言について、インターネット上で悪口を書き、悩んで自殺したとみられています。

木村さんは、番組の出演者に強い口調で怒ったことで、SNS上に「もう人前に現れるな」などと悪口をたくさん書かれました。

悪口を書き込んだのは、本名も顔も明らかでない匿名の人ばかり。こうした投稿は、誰もいない教室で黒板にクラスメートの悪口を書き残すような行為です。ある人の話したことや行いについて、批判をするのは自由です。でも、こうした嫌がらせのような悪口は、相手をひどく傷つけることがあります。

みなさんは、ネットでのいじめ行為に加わらないよう、十分に注意してください。



「こうのとり」
さいごひこう
最後の飛行

国際宇宙ステーション(ISS)へ物資を運ぶ無人補給船「こうのとり」の9号機が5月21日、種子島宇宙センター(鹿児島県)からH2Bロケットによって打ち上げられ、25日夜、無事にISSに着陸しました。

こうのとりには、宇宙飛行士の水や食料、電源用の大型バッテリーなどおよそ6.2tの物資が積み込まれています。近づいてきたこうのとりを、ISSの飛行士がロボットアームでつかみました。

こうのとりの打ち上げは今回が最後で、H2Bも引退します。H2Bによるこうのとりの打ち上げは、9回連続の成功となり、成功率100%でした。

こうのとりの役割は、2021年度以降は、輸送力を強化した次世代機「HTV-X」に引き継がれます。



「こうのとり」の4号機(2013年6月撮影)

ES細胞 肝臓治す

今回の治療では、生まれたばかりの赤ちゃんにES細胞が移植されました。赤ちゃんは数万人に1人しかかかりません。珍しい肝臓の病気でした。

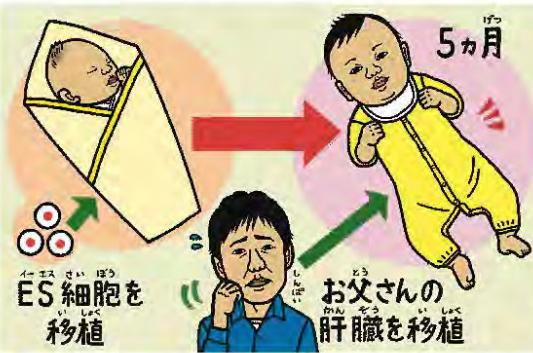
この病気を根本的に治すには、別の人への肝臓を移植するしか方法がない珍しい肝臓を移植するしかありません。しかし

そこで治療は2段階で進められました。まずはES細胞で肝臓の機能を持つ細胞をつくり、それを赤ちゃんに移植します。しかしこれは、

人への使用日本初

ES細胞を使った肝臓の治療は世界初。家族はどうぞ安心してES細胞を使つた肝臓の治療は、これまでES細胞の移植も、5ヶ月後には成功し、現在ES細胞の

東京にある「国立成育医療研究センター」という病院が5月21日、様々な細胞に変身できるES細胞(←時事ワード6)を国内で初めて人の体内に移植したと発表しました。病気の赤ちゃんを、この移植によって治療したのです。



イラスト・坂川りえ

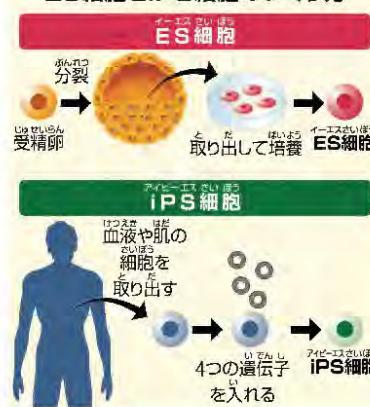
ES細胞は、人間のもとになる「受精卵」という細胞から作られます。受精卵は分裂して数を増やし、筋肉や内臓などいろいろな細胞に変身していって、最後は人間の体になります。

ES細胞から変身させた細胞を移植することで、神経細胞に変身する能力を持ったいるに違いない……そこまでできることもかもしれません。そこでES細胞を移植するときに違います。ES細胞から変身させた細胞を移植することで、神経細胞に変身する能力を持ったいるに違いない……そこまでできることもかもしれません。

ES細胞から変身させた細胞を移植することで、神経細胞に変身する能力を持ったいるに違いない……そこまでできることもかもしれません。

「受精卵」壊して作る

ES細胞とiPS細胞のつくり方



ただ、人間になる可能性もいます。ES細胞を作つてよいものかどうか、疑問を持つている人がいます。

待が寄せられています。

せん。そうした「再生医療」への活用に大きな期待があります。

緊急事態宣言 全て解除

政府は5月25日、新型コロナウイルスの感染拡大で出されていた東京や北海道など1都1道3県の緊急事態宣言を解除しました。これで、全部都府県で宣言が解除されました。

日本国内の感染者数は1万6000人を超えています。4月には新たな感染者が全国で700人以上確認された日もありましたが、5月下旬には30人を下回る日も出てきました。

政府は5月31日の解除を目指して

いましたが、全国で感染者が減り、これ以上お店の休業が続くと仕事を失う人がたくさん出てきて社会が混乱するため、解除を前倒しすることを決定。5月14日に39県、21日には大阪など関西の2府1県で宣言が解除されました。

ただ、韓国やドイツでは移動制限をゆるめた後、感染者が増加しています。解除後も密集・密接・密閉の「3密」に気をつけて生活する必要があります。



営業が再開された大阪の百貨店前で入店を待つ人たち(5月21日)